

科学基礎論学会 2018年度 秋の研究例会プログラム

日付:2018年11月10日(土)

会場: 日本大学文理学部

参加費: 無料(非会員:1,000円)

A会場(3号館5階 3503教室)

- 10:00~12:00 「心の進化研究の意義と可能性:原意識、理性、道徳」
オーガナイザ 田中 泉吏(慶應義塾大学)
鈴木 大地(自然科学研究機構)
- 1 鈴木 大地 (自然科学研究機構)
「原意識の進化に迫るための見取り図」
- 2 網谷 祐一 (東京農業大学)
「『理性の進化』をめぐる方法論的問題」
- 3 矢島 壮平 (東京大学)
「進化倫理学の可能性と限界」

12:00~12:15 科学基礎論学会奨励賞発表および授賞式【A会場】

12:15~13:30 昼休み、企画広報委員会(3502教室)

【A会場】

- 13:30~15:30 「道徳の自然化:工学的アプローチと道徳実践の行方」
オーガナイザ 塩野 直之(東邦大学)
- 1 植原 亮 (関西大学)
「認識論と道徳への工学的アプローチについて」
- 2 塩野 直之 (東邦大学)
「道徳の自然化は啓蒙主義の遺産を継承するのか」
- 3 金杉 武司 (國學院大学)
「自然化された道徳の実践と実在性へのコミットメント」

【A会場】

- 15:45~17:45 「精神医学における診断体系と診断実践」
オーガナイザ 石原 孝二(東京大学)
- 1 松本 ちひろ (上智大学)
「ICD-11と精神医学における診断分類の意義と役割」
- 2 石原 孝二 (東京大学)
「精神障害(疾患)の概念と精神医学における診断の機能」
- 3 糸川 昌成 (東京都医学総合研究所)
「疾患とはなにかー 喉頭研究は歌劇を解明するかー」
- 4 山田 悠至 (国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター病院、東京大学)
「精神の境界線:「精神科医の当事者研究」という試み」

B会場(3号館5階 3504教室)

- 10:00~12:00 「芸術における感情表現」
オーガナイザ 源河 亨(東京大学)
- 1 源河 亨 (東京大学)
「作者の感情表出と鑑賞者への感情喚起」
- 2 松永 伸司 (東京藝術大学)
「例示としての表出:ネルソン・グッドマンの立場から」
- 3 森永 豊 (國學院大学)
「音楽鑑賞における感情の身体性」
- 4 田邊 健太郎 (立命館大学)
「音楽学から見た分析美学の「表出」論争」

【B会場】

- 13:30~15:30 「On the Diversity of the Scientific Realism Debate」 ※英語使用
オーガナイザ 野内 玲(信州大学)
- 1 大西 勇喜謙 (総合研究大学院大学)
「Neural Networks and ‘the Aim of Science’ Dispute」
- 2 森田 紘平 (京都大学)
「Realism about What?」
- 3 Juha Saatsi (University of Leeds)
「Scientific Realism and the ‘Special Sciences’」

【B会場】

- 15:45~17:45 「Post-Kant論理哲学:ドイツ観念論・Lotze・現象学」
オーガナイザ 岡本 賢吾(首都大学東京)
- 1 太田 匡洋 (京都大学)
「J.F.フリースにおける哲学方法論の問題」
- 2 浅野 将秀 (首都大学東京)
「『論理学』(1874)におけるロツツェの概念論」
- 3 長坂 真澄 (群馬県立女子大学)
「算術の論理学的基礎付けに対する現象学からの考察」

科学基礎論学会

〒108-0023 東京都港区芝浦2-14-13 MCKビル2F 笹氣出版印刷株式会社内

TEL: 03-3455-4439

URL: <http://phsc.jp/>

E-mail: kisoron@sasappa.co.jp